

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	生涯学習・生涯スポーツの推進		
施策の体系	基本目標	ひとを育むまち	施策の主担当課名
	基本施策	心とからだ育成プロジェクト	関係課名
	施策コード	B-4-4	生涯学習課

① 施策の現状と課題	<p>情報化の進展や社会経済の仕組みが大きく変化する中、市民一人ひとりが心豊かに充実した生活を送るために、自ら生涯にわたって学習に取り組むことが求められています。</p> <p>生涯学習活動は、学習者の自発的な意思に基づくことが大切です。本市においては、市民が気軽に参加できる講座や教室などを開催し、自主的な学習のきっかけづくりに努めてきました。今後も、市民ニーズに対応した生涯にわたる学習活動の支援と啓発を図ることが必要です。また、西日本工業大学などの高等教育機関と連携した学習内容の充実を図ることが大切です。</p> <p>本市の生涯学習の拠点施設としては、中央公民館をはじめ校区公民館があり、今後は市民の生涯学習の実践の場として積極的に利用されるよう施設の有効活用を図っていく必要があります。</p> <p>また、現代社会における市民スポーツは、競技としてだけでなく、市民の健康づくりやいきがい創出の観点から、スポーツ交流の推進や競技力の向上などを図り、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽にスポーツを楽しめる生涯スポーツ社会の実現に向けた取り組みが求められています。併せて、市民が自主的かつ主体的に活動できる環境の整備や施設の充実が求められています。</p> <p>そのため、「行橋市生涯学習推進計画」を策定し、時代のニーズに対応した講座の企画や学習情報の提供、学習拠点施設の整備、地域や施設のネットワーク化、学習の成果が適切に評価される仕組みづくりなど、生涯学習推進体制の充実・強化を図る必要があります。</p>
② 施策の基本方針	<p>心の豊かさの追求、価値観の多様化などを背景とした市民の多様な学習ニーズに対応するため、生涯学習内容の拡充に努めるとともに、様々な学習機会や生涯学習に関する情報提供の充実を図ります。</p> <p>スポーツ施設や組織などの活動基盤の強化に努めるとともに市民スポーツ活動や健康づくり及び市民相互の親睦や交流のための地域に根ざした生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の振興を図ります。</p>

③ 施策の内容 (主要施策)	<p>主要施策名(1) 生涯学習推進体制の充実</p> <p>関係機関・団体等と連携して多様な学習に応えられる生涯学習推進体制の整備を図ります。</p>
	<p>主要施策名(2) 生涯学習活動の推進</p> <p>生涯にわたって学習できるよう西日本工業大学などとの連携を図り、専門性を生かし、また市民ニーズに応じた講座や教室などの学習機会を提供します。</p>
	<p>主要施策名(3) スポーツ活動の推進</p> <p>市民ニーズに応じた多様なスポーツ教室やスポーツイベントなどを企画し、効果的な情報提供等から市民がスポーツにふれる機会を提供します。</p> <p>また、スポーツ指導者、ボランティアの育成支援を行い、関係団体との連携を図ります。</p> <p>さらに、ニュースポーツなどの軽スポーツの普及に努め、年齢、体力、性別を問わず気軽に楽しめる環境づくりに努めます。</p>
	<p>主要施策名(4) 生涯学習・スポーツ施設の充実</p> <p>地域の交流拠点、情報発信基地としての公民館を計画的に整備し、安全で快適な学習環境の提供に努めます。また、市民が身近で気軽にスポーツ・レクリエーション活動を行うことができるよう、施設機能の充実に努めます。</p>
	<p>主要施策名(5)</p>
	<p>主要施策名(6)</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	過年度実績				評価年度	目標値			達成度の説明(H25年度)
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度		H26年度	H27年度	H28年度	
	公民館利用者人数(人)	163,199	194,334	199,552	182,699	185,000		200,000	各公民館のサークル数が増え、利用者が増加している。目標値の見直し171000→200000人	
	公民館講座参加人数(人)	7,682	6,374	6,403	6,688	6,700		8,000	校区公民館主催講座(子ども・人権講座)と中央公の市民大学講座の参加者数。22年度4196人→7682人に修正し目標値も8000人へ修正。	
	スポーツに親しむ環境整備に関する市民満足度(%)	25.4	-	32.9	-	-	-	35.0	24年度は生涯学習施設全般の充実度で、「充実」5.5%、「まあまあ」27.4%を挙げた。28年度にアンケート調査を実施したい	
	スポーツフェスタin ゆくはし参加人数(人)	580	689	704	608	700		750	開催する競技種目によって参加者数にばらつきがある。目標値の見直し 700人→750人	
	体育施設利用人数(人)	97,126	111,117	113,212	112,098	113,000		114,000	空調が完備され利用者が増加、目標値の見直し106800人→114000人	

⑤ 施策構成 事務事業	事務事業名	事務事業の内容	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位
			H24年度実績値	H25年度実績値	H26年度見込額	
1	小学校全国大会出場補助事業	市内小学生が全国大会に出場した場合に補助する(体育協会より支給)	0	0	0	-
2	中学校全国・九州大会出場補助事業	市内中学生が全国大会に出場した場合に補助する(体育協会)	0	0	0	-
3	中学校生徒対外競技大会出場補助事業	現在補助は行っていない	0	0	0	-
4	中学校体育連盟補助事業	現在補助は行っていない	0	0	0	-
5	市民大学講座事業	中央公民館にて市内在住・在勤者100人に2講座を提供する	3,043	2,861	2,897	6
6	緊急雇用創出事業	県の補助事業 23年度にて終了	0	0	0	-
7	女性学級事業	小・中学生の母親と地域の女性を対象に各校区で10ヶ月間10回の講座を実施	3,810	3,704	3,704	5
8	朗読大会コンクール事業	小・中・高校生を対象にこども朗読大賞を実施。今回11回目	648	662	652	22
9	校区婦人会補助事業	仲津校区の11支部に対し補助	73	73	73	23
10	レクリエーション協会助成事業	市レクリエーション協会に助成。訪問活動やボランティア養成講座等を実施	40	40	40	24
11	地域ボランティア養成講座事業	中央公民館にて書道・はがき絵・折紙の講座を実施	2,022	1,971	3,540	8
12	生涯学習推進計画策定事業	24年度に策定委員会を立上げパブリックコメントを経て25年3月に完成	3,781	0	0	-
13	公民館施設管理事業	市内13公民館の施設管理にかかる経費	87,837	82,176	90,031	1
14	公民館講座事業	各校区公民館で行う子ども講座と人権講座にかかる経費	2,193	2,432	2,594	7
15	公民館補修事業	大規模な補修が必要な施設について優先順位をつけ計画的に補修していく	1,939	4,322	4,315	13
16	学供施設管理事業	仲津・泉校区の22施設(各行政区が指定管理)の維持管理にかかる経費	6,243	4,633	6,266	14
17	再編交付金事業	防衛省の再編交付金を活用した施設整備工事費を計上	35,816	20,375	23,911	15
18	スポーツ教室事業	ジュニアと一般を対象にしたテニス教室を開催する	743	744	744	16
19	スポーツ大会事業	初心者テニス、中学サッカーなど7種目の大会を開催する	3,385	3,529	3,682	4
20	スポーツフェスタ開催事業	競技5種目を持ち回り、ニュースポーツの普及啓発を図る	2,935	2,935	2,935	10
21	体育協会補助事業	22団体・5SP少年団への企画運営・助成、年間50件以上のスポーツ大会を開催	15,808	15,840	15,855	3
22	パタンク協会補助事業	競技普及のため補助する。高齢者の生きがいを醸成	660	660	660	17
23	武道振興会補助事業	青少年の健全育成や精神修養を図るため武道振興会へ補助する	415	415	415	18
24	校区体育振興事業補助事業	11校区のスポーツ振興のための助成	890	890	890	19
25	高校野球大会補助事業	行橋京都地区の公立高校に対し野球の競技力向上と各高校間の融和を図る。	610	610	610	20
26	体育指導委員活動助成事業	23年度まで体育指導員の活動に助成	0	0	0	-
27	スポーツ推進委員活動助成事業	24年度からスポーツ推進委員の活動に助成する	2,449	2,462	2,462	9
28	中山グラウンド管理事業	中山グラウンド・テニスコートの維持管理にかかる経費	5,377	5,545	5,556	11

⑤ 施策構成 事務事業	29	体育施設補修事業	大規模な補修が必要な施設について優先順位をつけ計画的に補修していく	1,120	46,618	2,769	12
	30	指定管理体育施設管理事業	体育館・弓道場・武道場・庭球場の指定管理料	25,656	25,656	24,665	2
	31	その他体育施設管理事業	新田原G・多目的G、泉・今川スポーツ広場の管理にかかる経費	3,495	3,862	3,878	21

⑥ 施策全体の今後の方針と展望 (主要部長の意見)	<p>市長の掲げる「人口10万人構想」は、魅力がいっぱい 人が集まるパワフルゆくはし という第5次総合計画の将来都市像に合致するものであり、生涯学習課では生涯学習推進計画を策定し、いつでも どこでも とともに学ぶ 生きがいつくりのまち 行橋 を基本理念に、生涯学習・生涯スポーツの施策を推進する。</p> <p>生涯学習・スポーツの施設は全般的に老朽化が進んでおり、総合的な整備計画（長寿命化計画）を策定し、計画的な施設管理を図りたい。</p>
---------------------------------	--

⑦ 総合計画審議会からの意見及び指摘事項等	<p>人は学生時代のみならず、生涯を通して何らかの学習をすることで、自分の生きがいを見出し、生きる活力にしていくものである。その種類は多種多様ではあるが、出来るだけ多くの市民の学習ニーズに応えられるよう、施設の整備や、内容の充実に努めていくことが行政の使命であると思う。他の自治体や団体が実施している講座等を参考に、県内にどのような講師がいて、どのような講座が反響を呼んだのか等の情報をデータベース化することで、多種多様な講座の企画を行えるのではないかと。民間手法の導入、活用等も視野に入れてもよいと思う。</p> <p>また、様々なイベントを開催しても、参加する市民はいつも同じメンバーということがよくあるので、リピーターも大事だが、新たな参加者の開拓ということも視野にいれて、十分に周知する方法を検討すべきである。</p> <p>ただ、目標指標の実績値をみると、目標に向かって順調に進んでいるように思えるため、今後も継続して取り組んでほしい。</p>
--------------------------	---

⑧ 施策に対する市の最終方針	<p>生涯学習推進計画に掲げた施策が「絵に描いた餅」とならないよう、いかに実践して行くかが肝要です。計画策定時に行った市民アンケートの分析、あるいはボランティア登録派遣事業に参画くださるボランティアの皆さんのスキルをデータベース化し、それぞれのライフステージに合った効果的な社会教育事業を展開していきます。また市が掲げる「行橋市海岸地域観光振興基本構想」に基いた、地域の活性化・PRのための全国規模のスポーツイベント実施や総合公園の体育施設・研修センターを活用した「スポーツ合宿」に取り組みます。</p>
-------------------	--